



磐城平城本丸御殿跡

磐城平城本丸御殿遗址

磐城平城は、いわき地方の政治支配の拠点であるだけでなく、地域社会の経済・文化の中心地としての大きな役割を果たしました。歴代藩主の功績や戊辰戦争など、日本、東北地方、福島県の視点から見ても歴史的に重要な場所です。

令和2年度に発掘された磐城平城本丸御殿跡からは、礎石建物跡、石組遺構、石組列、溝跡、廁跡、柱穴などが発見されました。これらは、幕末まで使用されていた本丸御殿の遺構であると推測されています。さらに、本丸御殿跡からは、18～19世紀に鍋島藩窯(佐賀県)で生産された高級磁器など、日本や中国の陶磁器が多量に出土しました。これらの陶磁器は、本丸御殿にふさわしい出土遺物であり、本丸御殿が磐城平藩主の権威と尊厳を示す場所であったことを示しています。

磐城平城不仅是磐城地区政治统治的中心，也作为地方社会经济和文化的重要枢纽发挥了重要作用。从历代藩主的功绩及戊辰战争等方面来看，它在日本、东北地区及福岛县都是具有历史重要性的地方。在令和2年度发掘的磐城平城本丸御殿遗址中，发现了基石建筑遗迹、石组遗构、石组列、沟渠遗迹、厕所遗迹和柱洞等。这些遗迹被推测为直到幕末仍在使用的本丸御殿遗构。此外，从本丸御殿遗址中还出土了18至19世纪在锅岛藩窑(佐贺县)生产的高档瓷器及大量日本和中国陶瓷。这些陶瓷器物与本丸御殿相称，象征着本丸殿作为磐城平藩主的权威与尊严。

